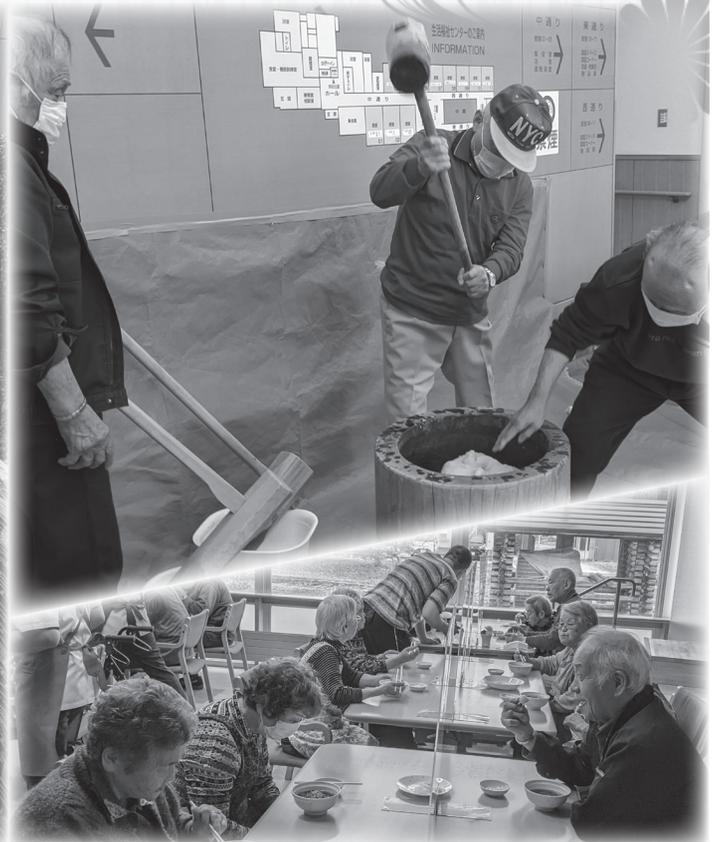


2023年

あつま

社協だより



冬号

発行者： 社会福祉法人 厚真町社会福祉協議会 〒059-1601 勇払郡厚真町京町 158 番地
TEL (0145)26-7501/FAX(0145)26-7655

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

謹賀新年 年頭によせて



社会福祉法人厚真町社会福祉協議会 会長 大橋 正 治

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

日頃から地域福祉の推進並びに社会福祉協議会の事業に対し、関係者をはじめ町民の皆様のご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、昨年も新型コロナウイルス感染症によってさまざまな影響を受けた年でありました。そのような状況の中でも、3年ぶりに開催された田舎まつりでは、多くの町民の皆様方が久しぶりに祭りを楽しんでいる姿を見ることができました。また、11月には胆振東部地震で大きな被害を受けた本町への支援に対し、現状と感謝の思いを伝える「災害支援感謝のつどい」を開催し、町内外から多くの参加をいただき、震災当時お世話になったボランティアの皆さんに感謝を申し上げることができました。

ご承知のように近年における福祉を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、少子高齢化の急速な進展や核家族化に伴う家庭・家族の介護力の低下などこれからの地域福祉の在り方が問われる時期となっています。

特に、認知症高齢者や一人暮らし高齢者世帯が増加傾向にあり、地域社会や家族が変化する中、介護保険では対応できない生活支援ニーズや社会的孤立、貧困等を背景とする深刻な生活課題が顕在化しております。

こうしたことへの対応にあたっては、公的な制度に基づくサービスだけでなく、普段から地域の人たちと顔見知りの関係になり互いに支え合う地域づくりが大切であります。

本年もよろしく お願い申し上げます

会 長	大 橋 正 治
副 会 長	加 勢 敏 和
”	加 藤 恵 子
理 事	池 田 シゲ子
”	伊 東 悦 子
”	中 谷 幸 保
”	北 島 美 保
”	佐 藤 秋 夫
”	中 川 登
”	箱 崎 倫 子
”	橋 場 直 人
”	高 橋 康 夫
”	佐 藤 功
監 事	前 田 正 行
”	山 田 忠 男
事務局 長	木 戸 知 二

ほか、職員一同

当協議会としても、支援の必要な方が住み慣れた場所で自分らしく暮らし続けることができるために、豊かな人間関係のもと住民と専門職が協働して支援体制づくりや生活困窮者への支援の仕組みづくりに向け、町民の皆様方をはじめ町行政並びに民生委員児童委員・関係施設・団体と連携し更なる努力をしてまいります。

本年も明るい地域社会実現のため、一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝・ご多幸を心からご祈念申し上げまして新年のご挨拶といたします。

苦情解決のための**第三者委員**を選任

本会では、事業運営などで生じた苦情の適切な解決に努めております。

このたび、任期満了に伴い中立公正な立場から苦情解決にあたる第三者委員を選任しました。苦情等がありましたら、社協事務局または第三者委員までお申し出ください。

◆第三者委員

- ・山田忠男さん（浜厚真／本会監事）
- ・兵頭敏枝さん（本郷／民生委員・児童委員）

法人後見事業

厚真町社会福祉協議会では、このほど法人後見事業を実施します。

この事業は、認知症や知的・精神障がい等により、意思決定や自己判断能力が不十分な方の財産や権利を保護し、安心して生活を送ることができるよう、本会が後見人等として支援する事業です。

<対象者>

厚真町に居住している方で、適切な後見人等が得られない方

<主な業務内容>

① 身上監護

本人の考えを尊重し、心身の状態や生活状況等に配慮しながら、その人にとって最も良い方法を選び生活環境を整える（手続きや契約等をする）こと

② 日常的な金銭管理

預貯金等の払い出しや公共料金の納入など

<できること>

- 預貯金や年金等、生活に必要なお金の管理
- 入院や介護サービス等の契約のサポート
- 財産の管理や様々な手続き・契約の代行
- 訪問販売や悪徳商法等の契約取り消し など

<できないこと>

- 日用品の購入や日常生活に関する行為の取り消し
- 手術の同意等、医療行為に関する同意
- 結婚や養子縁組等に関する代理や取り消し など

<手続き・申立ての流れ>

- ① 本人や配偶者、四親等内の親族（本人に判断能力が無く、親族もいない場合は町長）が、最寄りの家庭裁判所に申立てをする
※厚真町の場合、「札幌家庭裁判所 苫小牧支部」となります
- ② 家庭裁判所の調査官が本人の生活状況を調査
※「後見」・「保佐」類型の場合、原則として精神の状況について鑑定を行う
- ③ 成年後見人等が選任されると、法定後見が開始
※適切な成年後見人等が得られない場合、社協の法人後見となる

* 必要な書類・費用等については、家庭裁判所へお問い合わせください。

札幌家庭裁判所 苫小牧支部 電話：（0144）32-3295

* もち米贈呈 12/9 *

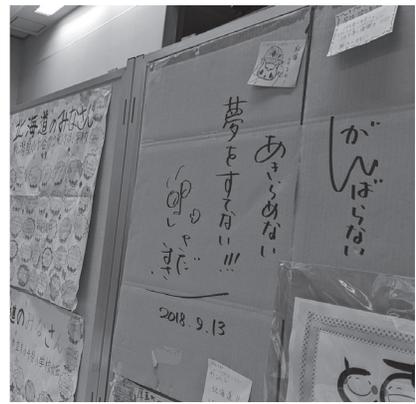
年末年始の行事にお使いいただけるよう、町内福祉施設である（福）北海道厚真福祉会、ともいきの里、NPO法人ゆうあいネットあつまへそれぞれもち米をお届けいたしました。

* おせち料理贈呈 12/30 *

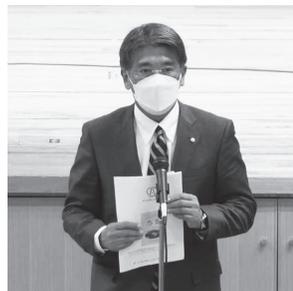
今年は114名の町民の方へおせち料理を贈呈しました。寒い中、民生委員の皆様にご助力をいただき届けられたおせちを、皆さんはお礼の言葉とともに笑顔で受け取られていました。

〜誰もが明るい新年を迎えられることを願って〜

歳末たすけあい事業



平成30年北海道胆振東部地震から4年 災害支援感謝のつどい



挨拶する大橋会長（左）と西野副町長（右）

厚真町民吹奏楽団と厚真中学校吹奏楽部、合唱サークル・ポラリス、厚真郷芸保存会が演奏。音楽を通じて復興や感謝を力強く表現しました。

11月12日（土）に町総合福祉センターで「災害支援感謝のつどい」を開催しました。

平成30年北海道胆振東部地震で全国各地からいただいた支援に対する感謝と、震災から4年が経過した厚真町の復興の様子などを発信することを目的とし、多くの町民や当時活動されたボランティア関係者の皆さんなど150人余りが参加しました。

つどいのオープニングや第一部と二部の幕間には、

黙とう、感謝のメッセージ

つどいの開会にあたり会場全員で黙とうを行いました。震災による犠牲者と今日までの間にご病気等で亡くなられたボランティアや支援関係者のご冥福をお祈りいたしました。

続いて厚真町社会福祉協議会の大橋正治会長、厚真町からは副町長の西野和博様から、災害支援やボランティアに対するお礼の挨拶が述べられ、また町民から寄せられたメッセージ動画をステージのスクリーンに上映しました。



感謝のメッセージ動画から

「散乱した家財に囲まれ途方に暮れていた時、ボランティアに出会って救われました」「全国から寄せられた温かいご支援を忘れません」と、町民の皆さんから寄せられた言葉は感謝に溢れていました。

また、ボランティア関係者からも「自分たちが被災しているのにボランティアに温かい言葉をかけてくれた厚真町の皆さんを忘れません」など、町民に対するメッセージが届いていました。



黙とうを捧げる来場者

復興状況、災害ボランティア実績報告

厚真町役場と厚真町社会福祉協議会からは、町の復旧・復興状況と、厚真町災害ボランティアセンターの活動実績について報告しました。

延5,504人に上る災害ボランティア活動について、町民やボランティア関係者に対して直接報告する初めての機会になりました。

また、会場には実際に災害ボランティアが使用していた活動資材や全国から寄せられたメッセージ、活動写真なども展示しました。



災害ボランティア活動で使用した資機材や資料を展示

地震の爪痕訪ねる 被災地の見学

災害支援感謝のつどいの開催に合わせて、地震による巨大な地盤変動が起きた日高幌内川の被災現場見学を実施。参加者の皆さんは約400メートルにわたり山の尾根が動いたという、自然災害の巨大な力を目の当たりにしました。



現地にて学芸員の説明に熱心に耳を傾ける参加者

住民とボランティアとの絆、今も

つどいの模様はインターネットを通じて配信しました。全国からオンライン視聴され、「今の厚真の様子を知ることができて良かった」などのコメントも寄せられました。

また、会場では震災をきっかけに知り合った住民やボランティアの皆さんが顔を合わせ、再会を喜ぶ姿が各所で見られました。それは当時の苦労を分かち合った人との出会いや絆が今も大切に続いていることを示す光景のようでした。

震災後の地域活動 ～実践者が発表



第二部では、町内で地域活動を続ける3人の実践者に、震災後の取り組みや今後の目標などについてそれぞれ発表いただきました。

コメンテーターに震災前から厚真町の防災アドバイザーとしても活躍されている東北大学災害科学国際研究所助教の定池祐季さんを招き、震災を乗り越えた経験をいかに次に生かしていくか理解を深めることができました。

《発表者》

あつまっぶる代表 高橋康夫さん



仮設住宅に入居した高齢者などを対象に健康維持のため体操指導に携わる。現在も体操教室の継続を通じて当時の参加者との「つながり」を支援。コロナ禍の中、当時のボランティアともオンラインなどで交流を続けている。

オフィスあっぷ・ろーど代表 上道 和恵さん



震災当時は多くの支援の一方で見過ごされていた子ども達もいたと振り返り、仮設住宅談話室の学習会から始まった第三の居場所づくりに取り組む。東日本大震災被災地との交流を交え、子ども達の防災学習なども始めている。

住民活動団体つむぎ代表 村上 朋子さん



災害ボランティアセンターでは二重班や被災者支援の中心として活躍。社協を退職した後、住民活動団体を立ち上げ、体操などの健康・役割・居場所づくりなどを進める。有志とともに学びながら仲間と活動の輪を広げている。

《コメンテーター》

東北大学災害科学国際研究所
助教 定池祐季さん



和気あいあい♪ 居酒屋レク～小規模多機能ホーム「ほんごう」



11月1日の午後から「居酒屋レク」を企画しました。

飲み物はビール風味のノンアルコールドリンク、甘酒やお茶などで乾杯。本物のお酒はありませんが、昔の話など会話も弾み笑顔も増えました。カラオケではペギー葉山やテレサテンの歌謡曲など、十八番の歌い心地もいつもと一味違うようです。

コロナ禍の制約があるため、消毒や換気などの注意をしながら1時間程の催しでしたが、初めての居酒屋レクは男女問わず好評のうちに閉店となりました。また第2弾の開催もありそうです。



令和5年度小地域ネットワーク活動「たすけあいチーム」 助成金の申請受付が始まります！



「たすけあいチーム」とは、自治会を基盤とした、住民の参加と協力により、同じ地域の中で援護が必要な方々の生活を見守り、支え合っていく活動です。

活動内容の例

高齢者世帯や障がい者等のいる世帯に対して…

①見守り・声掛け・訪問活動 ②除排雪活動 ③掃除や洗濯 ④通院や買い物、各種交流会などへの送迎 ⑤その他（自力では困難な立木の除伐処分、草取り、郵便物の投函、ごみの分別・ごみ捨てなどを行っている地域もあります）

令和4年度の「たすけあいチーム」

令和4年度の「たすけあいチーム」は16自治会ありました。

活動された自治会は、朝日、宇隆、表町団地、軽舞、北町、共栄、鹿沼、高丘、東和、富里、富野、豊丘、豊川、豊沢、幌内、美里自治会の皆様でした。（五十音順）

活動にご協力いただき、自治会の皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和5年度の申請について

受付期間 令和5年2月～令和5年3月15日まで

申請対象 町内の自治会

申請方法 申請書を持参又は郵送にて社協までご提出ください。

助成金支給 令和5年5月中旬頃の予定

活動期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日まで

※ 申請書は、各自治会長様宛に郵送します。



社会福祉協議会では、「たすけあいチーム」づくりを推進しております。

いま、活動してくださっている自治会様はもとより「これから始めたい」「申請はしていないけど、ご近所づきあいで活動している」という自治会様や隣近所の方もいらっしゃるかと思います。「たすけあいチーム」は、そういう活動をサポートする助成の仕組みです。「たすけあいチーム」活動に申請をいただき「たすけあう地域社会」をつくるために、どうか皆様のお力添えをお願い申し上げます。

お問合せ：福祉担当 0145-26-7501

掲示板

送迎ボランティア

募集中

- ★ ボランティアにちょっとだけ興味のある方
- ★ 運転が好きな方
- ★ 運転ボランティアと一緒に利用者を見守りをして頂ける方
- ★ 週に1度くらいなら空いた時間に送迎のお手伝いをして頂ける方

あなたの空いた時間を少しでも 地域貢献してみませんか？

【活動内容】

地域サロン等参加者の送迎

- * 車は当社協の公用車（普通車）を使用して頂きます*

お問い合わせ先 厚真町社会福祉協議会
0145-26-7501

生活就労サポートセンターいぶり

「住まい」「仕事」「生活費」
などの困難を抱えている方に
総合的な支援を行います。

【住宅確保給付金】

再就職のための住居の確保が必要な方、
収入が減り家賃が払えない方の支援を
行います。

【就労支援】

早期就労が見込まれる方に対して、自
治体とハローワークによる一体的な支
援を行います。

【家計改善支援】

家計管理、滞納の解消や各種給付制度
の利用、債務整理に関する支援などを
行います。

お問い合わせ先 サポートセンターいぶり
0120-09-0783

新入学児童のご家庭へお祝い金贈呈のご案内

社会福祉協議会では、4月から町内の小学校に新入学されるお子さんがいる世帯へお祝
い金を贈呈します。お祝い金の受給には基準があり、事前の申請が必要です。下記の要件
をご確認の上、申請してください。

- ☆お祝い金額☆ 新入学児童1人につき 2万円
- ☆対象世帯☆ 町内の小学校の新入学児童がいる世帯
- ☆所得基準☆
 - ・ 2人世帯～240万円まで
 - ・ 3人世帯～300万円まで
 - ・ 4人世帯～360万円まで
 - ・ 5人世帯～420万円まで
 - ・ 以下、1人増えるごとに60万円を加算

※生活保護費受給世帯は対象となりません

★申請時に必要なもの★

- ・ 申込書、同意書（書類は窓口にあります）
- ・ 世帯の収入を確認できるもの（令和4年の給与所得の源泉徴収票の写しなど）
- ・ 印鑑 ・ 通帳（振込先口座の確認）

★受付期間★

令和5年2月1日（水）～2月28日（火）

★申込窓口★厚真町社会福祉協議会 0145-26-7501

福祉資金

青木 秀夫 様 (富野)
 前田 タキ子 様 (本郷)
 松田 綾子 様 (本郷)
 石橋 久子 様 (東和)
 森田 明央 様 (桜丘)
 仲川 喜代美 様 (埼玉県)
 佐藤 勉 様 (豊川)
 森田 順一 様 (軽舞)
 吉岡 初枝 様 (上野)
 遠藤 賢一 様 (京町)
 池田 有江 様 (上野)
 佐藤 政芳 様 (美里)
 末政 久美子 様 (表町)
 匿名 5件

物品預託

新日本婦人の会 様 (浜厚真)
 ・・・・介護用パンツ・パッド
 厚真ライオンズクラブ 様 (新町)
 ・・・・フェイスタオル
 北海道コカ・コーラボトリング(株)
 苫小牧営業課 様 (苫小牧市)
 ・・・・飲料
 遠藤 賢一 様 (京町)
 ・・・・紙おむつ
 (有)厚真ファーム 様 (幌里)
 ・・・・メイクイン
 匿名 2件



厚真ライオンズクラブ様



北海道コカ・コーラボトリング(株)様

合計 725,950円 (18件) (令和4年9月12日～12月30日)

ご芳名はご本人から了解をいただいた方のみ掲載しています。

あたたかい善意に
 感謝いたします

ふれあいサロン

10:00～12:00 参加費:100円

今号の表紙ともいきの里で行われた餅つきの様子です。

☆あれこれサロン☆ (豊川生活会館)

- ・1/10 (火)
- ・2/7 (火)
- ・3/7 (火)

☆ひだまりサロン☆ (厚南会館)

- ・1/23 (月)
- ・2/16 (木)
- ・3/16 (木)

☆ほほえみサロン憩☆ (福祉センター)

- ・1/16 (月)
- ・2/17 (金)
- ・3/23 (木)

☆ほっと茶ろん☆ (厚北地域防災CCならやま)

- ・1/18 (水)
- ・2/21 (火)
- ・3/9 (木)

ふれあい広場開催

胆振身体障害者福祉協会厚真支部では、11月28日(月)に令和4年度「ふれあい広場」を開催しました。今回は地域包括支援センターの池田看護師を講師に招き、「オーラルフレイルの予防」「自宅でも取り組める介護予防体操」についての学習会と、同センターの中林介護支援専門員の進行による介護予防を取り入れたゲームを行い、楽しく介護予防を学び、参加者同士の交流も深めました。



利用者の皆さんの作品 文化祭に出展

11月3日に開催された町文化祭の展示会場に、いきいきサポート事業の参加者や、小規模多機能ホームほんごう・グループホームやわらぎの利用者が作成した作品を出展しました。



町文化祭は日頃の活動の成果を発表できる貴重な機会です。この日を目標に制作を進めてきたペーパークラフトやちぎり絵などの力作を今年も展示することができました。